

箕面市教育大綱〈2021-2024〉

令和3年(2021年)3月

箕面市

箕面市教育大綱〈2021-2024〉

はじめに

近年、ICTの進歩、グローバル化、超少子高齢化が進展する中、地域のつながりの希薄化、家族形態の複雑化、子どもの貧困の深刻化、後を絶たない児童虐待など、社会情勢は急速に変化し、家庭環境や教育環境は大きく変化しています。また、新型コロナウイルス感染症の影響下においても、新しい生活様式を取り入れながら持続可能な社会を創造していかなければなりません。

箕面市においては、北大阪急行の延伸により、船場地区のまちづくりの一貫として新たに図書館や生涯学習センターがオープンするなど、さらなる教育環境の充実が期待されます。

そのような中であって、本市では学力だけでなく、体力、生活習慣といったバランスのとれた教育を推進し、総合的な人格の形成、豊かな人間力を育む教育を実現し、「子育て・教育日本一」を目指します。

そして、箕面から国際社会で活躍するグローバル人材の育成を図っていきます。

令和3年(2021年)3月31日
箕面市長 上島 一彦

大綱について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」において、「地方公共団体の長は、教育基本法第十七条第一項に規定する基本的な方針を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるものとする。」(第一条の三)とされています。

箕面市教育大綱は、予算編成権を有する首長と、教育を所管する教育委員会が、教育に関する方向性を合意し、教育行政をより円滑に進めていくことを目的に、総合教育会議において議論を重ね、策定するものです。

本大綱は、箕面の教育に関する基本方向を記載しており、計画期間を令和3年度から令和6年度までの4年間とします。また、箕面市教育大綱別紙については、大綱で定めた基本方向の実現に向けた具体的な取り組み事項を記載し、毎年、総合教育会議で進捗状況を確認します。

箕面市教育大綱の基本方向

- 学校教育
子どもたちの「生きる力」と「つながる力」を育みます
- 子育て施策
家庭・学校園所・地域で「つながる力」を育みます
- 生涯学習・社会教育
「いつでも・どこでも・だれでも、学びたいことを学ぶ」を育みます

学校教育 子どもたちの「生きる力」と「つながる力」を育みます

これから多様性のある社会を生き抜くすべての子どもたちにとって、自ら学び、課題を見つけ、問題を解決していくための「生きる力」や、自分の意見を表現でき、他者のことも認めることができる「つながる力」が大切です。この「生きる力」と「つながる力」をしっかりと伸ばすために、個別最適な学びと、社会とつながる協働的な学びの実現を図りながら、これからの社会の創り手となる児童生徒の育成を行います。

- ◇多様性ある社会で活躍するグローバル人材育成のために、英語に身近に触れる学習環境を整えます。
- ◇児童生徒1人1台配備されたタブレット端末の柔軟な活用や、課題となっている箕面の子どもの体力向上にも着実に取り組みます。
- ◇9年間を見通した小中一貫教育のさらなる推進や本市独自の「箕面子どもステップアップ調査」の活用を通じ、学習支援の多様化や「質」の向上を図ります。
- ◇すべての児童生徒がそれぞれ着実に学力向上を果たせるよう教員の授業力・指導力の向上や小学校での35人学級の早期実現を図るとともに、児童生徒を誰ひとり取り残さない支援を実施します。

子育て施策 家庭・学校園所・地域で「つながる力」を育みます

教育委員会において、保育所や児童扶養手当などの児童福祉事業や乳幼児健診などの母子保健事業等を所管し、継続性のある支援体制のもと「妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援」を行います。

- ◇子育て中の保護者が行政や地域、子育て仲間とつながり、子育てに不安や悩みがある時に、いつでも相談ができ必要な支援を受けられるよう、相談・支援体制を強化します。
- ◇貧困の連鎖の根絶に向けて、教育委員会や学校等が各種機関と連携し、家庭環境に関わらず、すべての子どもが将来、社会の一員として自立し生活していけるよう支援策を強化します。
- ◇家庭の経済的な状況や子どもの発達上の支援の必要性の有無などに関わらず、すべての子どもが安心して幼児教育保育施設を利用できるよう、家庭の経済的支援とともに、幼稚園教諭・保育士の確保や資質の向上等に向けた取り組みを行います。
- ◇在宅で子育て中の保護者支援として、孤独感なく日々過ごすことができるように、また、地域や同世代の子どもをもつ保護者とつながりをつくる機会の醸成として、気軽に集える「場・機会」をつくります。

生涯学習・社会教育 「いつでも・どこでも・だれでも、学びたいことを学ぶ」を育みます

市民ニーズをふまえた着実な取り組みを進めるため、基本となるさまざまなことの学習機会ニーズとして「知りたい・学びたい」、その学習をさらに探求し活用するニーズとして「深めたい・活かしたい」、学習における人と人とのつながりに関するニーズとして「つながりたい・広げたい」、自発的な学習への支援などに関するニーズとして「支援・推進してほしい、協働したい」の4つの観点を踏まえて、生涯学習施策を展開します。

- ◇すべての世代の人たちが、いつでも、どこでも、学びたいことを学ぶことができる生涯学習の「場」を充実します。
 - ・世代を超えて気軽にスポーツを楽しむことができる「場」
 - ・図書館サービスを快適に利用できる「場」
 - ・国際理解の推進や芸術文化活動の振興など生涯学習の「場」

編集・発行 箕面市役所

令和3年3月

大阪府箕面市西小路四丁目6番1号

TEL 072-723-2121(代表)

FAX 072-724-6010

<http://www.city.minoh.lg.jp>

印刷物番号

2-23
